

記入年月日:平成 6年 7月 8日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動内容や利用者数に合わせてグループ分けをしたり部屋分けをすることで、できる限り最適なスペースを確保する工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		活動内容や利用者数に合わせてより多くの人員を配置できるよう配慮しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		事業所内はバリアフリー構造となっています。建物と駐車場の間に階段がありますが、駐車場から歩道へ出てから建物へ向かっていただくと段差なく移動することができます。また分かりやすく集中しやすい環境にするため、掲示物を減らすなどの工夫をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気をつけています。常時空機清浄機をつけています。活動内容や利用者数に合わせて机や椅子を配置しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		PDCAサイクルを心掛け、毎月1回、職員ミーティングにおいて現状の把握、課題の抽出、目標の見直しなどについて話し合い、日々の業務に反映することを心掛けています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様からの評価、ご意見を参考に、よりよい支援を心がけていきたいと業務改善に取り組んでいる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		2023年8月開所のため、2024年よりホームページにて公表いたします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		現状は利用者と事業所内の評価のみ行っております。今後必要に応じ外部評価の実施を検討いたします。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修に参加したり、内部研修を実施し、職員の資質向上に努めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部にて実施された発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしております。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画(個別支援計画)に沿った支援を行っております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		日々のミーティングや職員ミーティングにて話し合い、共通の目標をもって取り組むことを目指しています。プログラムの立案は複数の視点から検討しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		日替わりで活動内容を計画し、課題内容を少しずつ発展させていくことで、楽しみながら発達を促すようにプログラムを組んでいます。また季節を感じるおでかけ、お買い物などより多くの経験を積む機会を持っていただくよう工夫をしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		小集団活動と個別レッスンを組み合わせ、一人ひとりの発達に応じ個別の課題と集団適応・社会性の課題を支援に取り入れています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		日々の打ち合わせで支援内容や役割分担を確認し、情報共有に努めています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後、その日あったこと、気が付いたことを振り返り、今後の対応方法まで職員間で話し合いをしています。記録を残し情報共有を心掛け、支援の検証および改善につなげていくよう努めています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に1度、計画の見直しを行うため職員ミーティングを行い、内容の更新をしております。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者など適任者を選んで出席しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		子ども発達支援センターでの療育の必要性のあるおさまの紹介に応じたり、幼稚園、保育所との連携を図っております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	該当しない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	該当しない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行先や保護者様の要望に応じて情報提供を行っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		現状は小学校や特別支援学校(小学部)との連携は行っておりません。今後、ご要望に応じて対応いたします。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他の児童発達支援事業所と連携し、助言を受けております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		事業所として交流活動等の実績はありませんが、児童が保育所・幼稚園と療育を平行通園できるように通園日や利用時間を調整したり、保護者様のご希望で通園先との連携などを行っております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		要請がありましたら参加したいと考えております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の送迎の際におさまの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムの実績はありませんが、ご要望に応じて面談を行っております。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明させていただいております。また、ご不明な点には随時職員が説明を行っております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別支援計画や日々の活動プログラムは、ガイドラインに沿って作成しております。支援や活動の狙いが保護者様へ分かりやすく伝わるよう心掛けていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的なモニタリング時に相談の時間を設けております。またご希望に応じて相談を受け付けております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会の実績はありませんが、ご要望が多数の場合は開催を検討していきたいと考えております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申し入れがあった場合、電話やLINE、面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めております。苦情受付・解決担当社は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月1回ぶち通信を配布し、行事予定をお伝えしております。必要の応じLINEを利用して連絡事項等の情報を発信しております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しております。また使用する書類についても必要以上に目に触れないよう扱っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		ことばと共に、見てわかりやすい絵カードを使用するなど伝達方法を工夫したり、伝える方法をおさまや保護者様に合わせるようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		会場を地域の企業に提供いただきお祭りを開催しております。地域住民を招待する等の企画については、必要に応じて検討していきたいと思っております。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	緊急時対応マニュアル等を策定しておりますが、保護者様への周知、職員の訓練が十分でない部分もあるので改善につとめます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	療育時間内に毎月1回避難訓練を実施しております。今後、様々な場面での被災を想定した避難訓練、安全確認を行っていくよう取り組んでまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	保護者様をご記入された健康状況票により把握しております。また必要に応じて聞き取りを行っております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギーがあるものについては、おやつや活動の材料に取り入れれないようにしております。必要に応じて服薬、投薬、研究搬送先などの取り決めに保護者様と行い、医師にも確認してもらうようにいたします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止に関する外部研修に参加し、内部研修も実施しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するための緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共有認識とし、行った場合は記録に残すことしております。対象となる利用者がある場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。